

地域密着型通所介護「リハビリデイサービスまな」

運営推進会議 議事録【第6回】

日時：平成31年2月13日（水） 16：35～17：15		場所：リハビリデイサービスまな機能訓練室			
ご利用者様 A様	地域代表 C様	高齢者総合センター 室 様	事業所職員	事業所職員	事業所職員
ご家族様 B様		武蔵野市職員 奥野 様	事業所職員	事業所職員	

◆議題

1. 利用状況について（H30年12/1現在）
 利用者の年齢分布 男女比
 介護度分布 1週間の利用回数
 利用年数 家族構成 等
2. まなの活動内容
 レッドコードでの体操・マシントレーニング・理学療法士による個別機能訓練を実施。
 3ヵ月毎に体力測定で運動評価を行うが、1年前の数値との比較結果を発表
 利用者の体調等、最近の傾向について。
3. 新店舗増設について
4. 課題
5. ご意見・ご要望

◆議事内容

1. 利用者の年齢構成は少しずつ高齢化傾向が見られる。男女比はほぼ半々で、一般的な傾向に比べると男性比率は高いと言える。介護度は引き続き要介護1・2くらいの軽度の方の割合が多く、週1～2回の利用が基本となっている。独居・夫婦のみ世帯の割合も各々3割程度と変わらないが、日中1人となる方も多く、家庭内介護力の低下傾向は引き続き窺える
2. 運動プログラムは基本変わらずに実施。各利用者の状態に合わせて運動項目の実施判断や、理学療法士による自宅での体操指導等も継続して行っていく。
3. 昨年実施していた整体を独立し、新規事業として別の場所を進めていく予定。同施設で「三鷹市の総合事業専門」となる通所サービスも実施予定。
4. 昨年末から年明けにかけて利用者の体調不良による欠席や、中止・長期欠席が増加し、稼働率の低迷が続いている。体調管理の啓発をしていくと共に、新規利用者の獲得や私用での欠席時の振替調整等、事業所運営の安定化が喫緊の課題となる。
5. 自宅での生活動作の安定・改善に、より資する運動習慣を作れるようにして欲しい。欠席時の振替等の推進を進めた方が良い。更新時等の要介護度の軽度化が結果として見られるか。（答申：軽度化はそれほど多いケースで無いが、前回までいた介護4の方は3以下となっている）等